



島根県内で見つけた「エシカル」につながる（エシカってる）行動や事柄をFacebookで紹介しています。

vol.7 地産地消のススメ「産直コーナー」の心意気 Upload: 2022/3/2

最近、さまざまなスーパーに産直コーナーがあり、地元生産者が持ち込む農産品などが買い物の傍ら手軽に入手できるようになってきた。

少し前、昨年末のこと。益田市に出かけることがあり、以前から気になっていたスーパーキヌヤさんの産直コーナーに立ち寄った。

中心市街地にあるそのコーナーは、恐らく県内最大級。作物ごとの棚のほか、地域の農業法人や有機JAS生産物のコーナーも区分けして設置され、益田地域の幅広い農産物が並ぶ。



産直コーナー開設の際、話題になったのはトレーサビリティシステムの導入だ。農産物のトレーサビリティは、栽培時の農薬や化学肥料の使用履歴を記録し、照会ができるということ。道の駅など、生産出荷者の組合で運営する広い産直市に導入されている例はあるが、コーナースペースを提供する店舗側が導入するのは珍しい。



コーナーには、トレーサビリティシステムの役割や「地産地消」の取組に注力する理由を丁寧に説明するPOPが置かれ、「エシカル消費」の体験学習をしているようだ。

農産物に貼られたシールには、作物名や生産者名と並んで二次元コードが印刷され、スマートフォン



で読み込むと、生産者の紹介や写真と一緒に、肥料と農薬を使用した日とその目的を見ることができる。施肥は栽培前に行われることが多く、この作物が、どれだけの期間をかけて大切に育てられたのかが伝わる。

確かさを見える化し、語りかけるように農産物を提供する店と生産者の心意気。消費者はどのように手に取り、感じ取っているのだろうか。

「エシカル消費」の推進

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課
消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター
Facebookはこちらから→

facebook.com/Shimane.CIC